



J. FRONT RETAILING

2025年5月15日

会社名 J. フロント リテイリング株式会社
コード番号 3086
代表者名 代表執行役社長 小 野 圭 一
お問合せ先 コーポレートコミュニケーション室
TEL 03-6865-7621

2025年4月度 J. フロント リテイリング 連結売上収益報告（IFRS）

1. セグメント別売上収益（売上高）（対前年増減率：％）

	売上収益(IFRS)		(参考)総額売上高	
	4 月度	上期累計	4 月度	上期累計
百貨店事業	1.4	0.4	▲ 1.8	▲1.9
SC 事業	7.0	5.1	6.4	5.9
デベロッパー事業	69.3	27.8	69.3	27.8
決済・金融事業	▲ 2.6	▲2.0	▲ 2.6	▲2.0
その他	27.5	33.2	27.0	32.5
連結合計	11.5	5.9	3.5	2.0

※注） 1. 当社は2017年3月から国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。
2. 総額売上高はIFRS売上収益のうち「百貨店事業」の消化仕入取引を総額に、「SC事業」の純額取引をテナント取扱高（総額ベース）に置き換えて算出しています。
3. 各セグメントの対前年増減率は、それぞれを構成する事業会社の単純合算により算出しており、セグメント内消去を含みません。
4. 松本PARCOは、2025年2月末日をもって営業を終了しました。

2. 事業別の概況

1) 百貨店事業

- 4 月度の売上高は、化粧品、時計、食品などが売上を伸ばし、外商売上の好調もあり国内売上は対前年プラスとなったものの、前年ラグジュアリーブランドを中心に免税売上が大幅に増加したことによる反動減により、大丸松坂屋百貨店合計では対前年▲0.7%減、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同▲1.8%減となった。
- 大丸松坂屋百貨店の免税売上高は、対前年▲20.5%減（客数同13.7%増、客単価同▲30.1%減）となった。
大丸松坂屋百貨店の国内売上高（免税売上の本年・前年実績を除く）は対前年2.2%増であった。
- なお大丸松坂屋百貨店の5 月度の既存店売上（法人・本社等を除く）は、外商売上が好調を持続しているものの、訪日外国人売上の大幅な減少により、14日までの累計で対前年▲4.4%減で推移している。
- 5 月度の免税売上高は対前年▲37.0%減（客数同6.8%増、客単価同▲41.0%減）、国内売上は同4.3%増で推移している。

2) SC事業

- 店舗別では、訪日外国人取り込み強化、前年からの改装効果などにより15店舗中13店舗が前年を上回り、全店計で5.9%増（既存店6.9%増）となった。特に訪日外国人客の取り込みの効果が大きかった心斎橋PARCOは19.0%増、PARCO_ya上野は14.5%増、新規大型キャラクターショップ等の改装効果により名古屋PARCOが14.7%増
また、改装による一部休業影響により広島PARCOが▲0.2%減となった。

3) デベロッパー事業、決済・金融事業、その他

- デベロッパー事業は、J. フロント建装が百貨店内装工事の好調により大幅増収となったほか、パルコスペースシステムズも増収となり、全体でも大幅な増収となった。
- 決済・金融事業のJFRカードは、加盟店手数料が増加したものの、ポイント費用の増加などにより減収となった。
- その他は、卸売業の大丸興業で、自動車部品が苦戦したものの、電子デバイスの好調持続により増収となり、全体でも大幅な増収となった。

【お問合せ先】 J.フロントリテイリング株式会社 コーポレートコミュニケーション室
IR推進担当 TEL 03-6865-7621
グループ広報担当 TEL 03-6865-7616

2025年4月度 百貨店事業 営業報告(総額売上高)

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	4 月度		上期累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心斎橋店	▲6.4	11.0	▲5.4	8.0
大丸 梅田店	13.2	12.1	9.9	8.0
大丸 東京店	▲8.5	▲4.0	▲5.9	▲4.1
大丸 京都店	▲12.6	▲0.2	▲10.7	▲2.2
大丸 神戸店	6.8	0.3	4.5	▲2.7
大丸 須磨店	▲7.3	4.0	▲5.2	6.5
大丸 芦屋店	▲0.7	▲0.8	0.2	▲1.3
大丸 札幌店	▲1.0	3.5	▲0.1	3.0
大丸 下関店	▲10.4	▲4.1	▲11.7	▲4.2
松坂屋 名古屋店	0.8	▲1.5	▲0.4	▲2.1
松坂屋 上野店	▲3.9	1.8	▲1.1	1.6
松坂屋 静岡店	3.4	▲7.3	2.2	▲10.4
松坂屋 高槻店	▲1.6	3.0	▲1.3	2.0
店 計	▲1.9	2.9	▲1.7	1.4
法人・本社等	22.5	－	15.1	－
大丸松坂屋百貨店合計	▲0.7	2.9	▲0.9	1.4
うち商品売上高	▲0.8	－	▲1.1	－
うち不動産賃貸収入	0.4	－	3.0	－
博多大丸	▲18.2	2.3	▲15.3	▲1.0
高知大丸	1.1	▲3.8	▲0.6	▲3.9
百貨店事業合計	▲1.8	2.8	▲1.9	1.2

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	全店計	
	4 月度	上期累計
紳士服・洋品	▲8.2	▲6.7
婦人服・洋品	▲5.8	▲4.9
子供服・洋品	▲9.9	▲11.9
その他の衣料品	▲16.8	▲16.0
衣料品計	▲6.3	▲5.4
身 回 品	18.5	11.7
化粧品	11.6	9.6
美術・宝飾・貴金属	▲3.3	▲3.3
その他雑貨	▲34.9	▲37.2
雑 貨 計	1.7	1.0
家具	4.8	▲0.2
家電	12.0	12.2
その他の家庭用品	▲1.0	2.7
家庭用品計	0.5	2.1
生 鮮	0.4	▲0.3
菓 子	12.4	5.1
惣 菜	3.2	1.3
その他食料品	0.7	0.4
食料品計	5.8	2.5
食堂・喫茶	2.7	1.7
サービス	12.2	11.0
そ の 他	0.0	5.2
合 計	▲0.8	▲1.1

3. 営業概況

- 婦人服・洋品は、前年訪日外国人によるラグジュアリーブランド売上が大きく増加したことによる反動減などにより、前年実績を下回った。紳士服・洋品は、スーツや紳士用品などの不調により対前年マイナスとなった。身回品では、アクセサリ、婦人靴が好調に推移した。雑貨では、訪日外国人客数の増加に伴い、化粧品が好調を持続した。食料品では、価格高騰のマイナス影響はあるものの、お花見行楽需要や物産展の好調などにより、対前年プラスとなった。

2025年4月度 パルコ店舗 テナント取扱高報告

※「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高(売上)の合計値で、前年の値も同じ基準で集計いたしております。

1. 店舗別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	4 月 度	上 期 累 計
札幌PARCO	6.2	12.5
仙台PARCO	5.9	4.1
浦和PARCO	0.3	0.8
池袋PARCO	1.7	▲1.2
PARCO_ya上野	14.5	12.5
ひばりが丘PARCO	4.4	3.2
吉祥寺PARCO	1.7	3.8
渋谷PARCO	5.0	1.9
錦糸町PARCO	7.3	6.7
調布PARCO	0.0	1.3
静岡PARCO	▲6.6	4.0
名古屋PARCO	14.7	14.2
心齋橋PARCO	19.0	20.5
広島PARCO	▲0.2	3.2
福岡PARCO	10.5	9.0
全店計	5.9	5.7
既存店計	6.9	6.7

※注) 1. 松本PARCOは、2025年2月末日をもって営業を終了しました。
2. 既存店計には、松本PARCOの前年実績を含みません。

2. アイテム別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	全店計	
	4 月 度	上 期 累 計
衣料品	0.4	1.0
身回品	3.2	3.2
雑 貨	16.1	13.5
食 品	7.6	5.7
飲 食	8.9	5.2
その他	▲1.7	4.0
合 計	5.9	5.7

3. 営業概況

- ・ 店舗別では、訪日外国人取り込み強化、前年からの改装効果などにより15店舗中13店舗が前年を上回り、全店計で5.9%増（既存店6.9%増）となった。特に訪日外国人客の取り込みの効果が大きかった心齋橋PARCOは19.0%増、PARCO_ya上野は14.5%増、新規大型キャラクターショップ等の改装効果により名古屋PARCOが14.7%増の大幅伸長となった。また、改装による一部休業影響により広島PARCOが▲0.2%減となった。
- ・ アイテム別では、雑貨が16.1%増と前年を大きく上回り、アニメやゲーム系コンテンツのキャラクター雑貨の好調により心齋橋PARCO、名古屋PARCO、仙台PARCOを中心に伸長した。その他は旅行、シネマ、エステ等の不調により▲1.7%減となった。